

日本スポーツ法学会・2026年度夏期合同研究会

盗撮・違法投稿によるスポーツ権侵害への対抗策 —スマホ・AI・SNS時代の実態を踏まえて

本研究会では、スポーツ界における「盗撮」や「違法投稿」の問題への対応状況を振り返りつつ、スマホ・AI・SNS時代におけるスポーツ権侵害の実態を多角的に検討し、それらにより生じる法的・倫理的・技術的な諸課題を検討・整理するとともに、今後の対策のあり方について考察を深める機会としたい。

※参加費は、会員及び開催校の学生は無料、非会員は1000円です。詳細は、学会HP(<https://jsla.gr.jp/>)をご覧ください。

日時

2026年7月11日(土)13:30~17:00 (受付: 13:00~)

会場

奈良女子大学 文学系S棟ダイダンホール (S235)
(オンライン配信によるハイブリッド開催)

報告

アスリートの撮影・投稿被害への対応の実情と法的課題
工藤洋治 (弁護士)

報告

誹謗中傷モニタリングについて
高森雅和 (株)Japan Nexus Intelligence 代表取締役)

報告

スポーツの現場における性的ディープフェイク被害の実態
小林聖子 (弁護士)

報告

フランスにおける性的ディープフェイクの刑事規制
—民事上的人格権保護との関係を踏まえて
隈元利佳 (関西大学 法学部 准教授)

ファシリ テーター

石上敬子 (近畿大学 法学部 准教授)

※終了後、情報交換会を開催します (会費: 5000円)。

主催

日本スポーツ法学会



japansportslaw.contact@gmail.com

申込

研究会 : 7月 7日×切
情報交換会 : 6月30日×切

